
「妊娠期乳がん8例の後方視的検討 — 治療介入時期と多職種連携の重要性 —」

に関するお知らせ

このたび、埼玉医科大学総合医療センターにおいて診療を受けられた患者さんの診療録等を用いた研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長の許可のもとで行われます。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2016年1月1日から2025年12月31日までの期間に、埼玉医科大学総合医療センターを受診し、妊娠期乳がんと診断され、治療を受けられた患者さんが対象です。

2. 研究の目的

妊娠期に乳がんと診断された患者さんについて、治療を開始した時期や治療内容、出産の経過、産科など他の診療科との連携の実際を明らかにし、今後の診療に役立てることを目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可日から2027年3月31日まで

4. 利用または提供の開始予定日

(西暦) 2026年5月16日 (情報公開日から2週間後)

本研究に関する情報を公開した後、研究対象者ご本人が利用または提供の停止を求める機会を確保するため、情報公開日から2週間の期間を設け、その後に試料・情報の利用または提供を開始します。

なお、開始予定日以降であっても、研究への利用停止等のお申し出には対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

本研究では、以下の情報を使用します。

- 診療の過程で取得された検査データ
- 診療記録（カルテ情報）
- 病理検査結果などの検査結果データ

なお、本研究ではカルテ番号、氏名、イニシャル、病理検体番号など、個人を直接特定できる情報は使用しません。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者が個人が特定できないように加工した上で厳重に管理します。そのため、患者さんのプライバシーが侵害されることはありません。

2. 試料・情報の取得方法

乳癌と診断された患者さんの検査を実施した際に生じた検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

本研究は、以下の研究機関において実施されます。

埼玉医科大学総合医療センター プレストケア科
研究責任者:北條 隆

4. 試料・情報の管理責任者

本研究は当院単独の研究であり、情報の管理責任者は以下のとおりです。

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

5. 試料・情報の提供方法等について

本研究は当院単独で実施する研究であり、情報を他の研究機関や第三者へ提供することはありません。そのため、本項目は該当しません。

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター ブレストケア科 助教 杉山 佳奈子

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981 番地

電話：049-228-3463（直通）（平日 9 時～17 時）

メールアドレス：kanakokko527@gmail.com

○研究課題名：妊娠期乳がん 8 例の後方視的検討 — 治療介入時期と多職種連携の重要性 —

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター ブレストケア科 北條 隆